

「分散登校」について

新型コロナウイルス感染症によって休みが長くなっています。そこで、感染する人が増えないようにしっかり予防しながら、児童生徒の心と体を回復して、新学期に向けた生活リズムを少しずつ整えていきます。そのために、学校の大きさによって、学年や学級または地区ごとに分けて登校してもらいます。

1 感染しないようにするための方法

- ・家庭での健康観察と登校する時の体温測定でダブルチェックをする
- ・教職員の健康状態の確認
- ・手や指の消毒や手洗いをしっかりさせる
- ・会場の空気をしっかり入れ替える、清掃や消毒を行う
- ・児童生徒の間は2mぐらいあける（マスクがない場合）
- ・風邪の症状がある場合は登校させない

2 どうやってするのか

「症状のない方にとっては、人との接触が少ない活動や手を伸ばして相手に届かない程度の距離をとって会話をすることは、感染のリスクが低い活動（厚生労働省新型コロナウイルス対策専門家会議での考え）」を元にして、下に書いてある方法で行います。

- ・学年、学級または地区ごとに分けて登校してもらう
- ・体育館、地区の会館などの公共施設も使う
- ・しばらくの間、一人につき週1回60分ぐらいの授業をする

3 内容

- ・最初は、感染症予防についての正しい知識や予防の方法を教える
- ・児童生徒の健康状態を把握する
- ・家庭で勉強するときのアドバイスをする

4 その他

- ・「分散登校」は、いつもの授業とは違うので、子どもの状況や保護者の考えで欠席しても良い
- ・高等学校は通学範囲が広いが、メールなどで指導ができる。また、特別支援学校は、児童生徒それぞれの対応が必要になる。
- ・そのため、「分散登校」をする時期を含めて別でお知らせする。